

基本コンセプトの考え方

【図書館を意味するキーワード】

- ・ 知、知る、知識、学ぶ、学習、読む、情報

【これからの図書館づくりに関するキーワード】

- ・ 課題解決型、市民参加型、企画提案型
- ・ 支援、クオリティオブライフ、ネットワーク、輪

【駅ビルに関連するキーワード】

- ・ 駅、駅ビル、ステーション、ターミナル、ポータル、窓口、中心、にぎわい、
- ・ 知の駅、学びの駅、知のステーション、ナレッジステーション、知のターミナル、ナレッジターミナル、知の窓口、情報の駅、情報ステーション、情報ターミナル

【地域性に関するキーワード】

- ・ 繊維のまち、織物のまち、総合繊維産業都市、毛織物王国
- ・ 紡績・撚糸・染色・整理から縫製
- ・ つむぐ、織る、織りなす、縫う、仕立てる

●基本コンセプト案

案１） ひと、まち、暮らしの知恵の輪（和）に

「知恵の輪」とは、ひと・まち・暮らしにおける解決すべき課題を表すとともに、「知恵」の「輪」は、知識、文化、情報などのネットワークも表現している。また、「知恵の（和）」とは、人とひとの交流を表している。

案２） ここで出会い、ここから広がる情報・交流ステーション

読書・学習の場としてだけでなく、新たな情報や新たな人との出会いから、情報や交流が広がる場を表している。

案３） 知をつむぎ、ひと・まち・暮らしを織りなす学びの駅

学習の場として、そして様々な課題解決に資する拠点として、駅ビルが機能することを表している。

案４） 宝さがし、自分さがし、幸せさがしの情報ステーション

ワクワクするような情報に接することができ、個人での学習・研究や、家族や団体での憩いの場、また、様々な出会い・交流のキッカケとなる場を表している。

案５） 学び、気づき、仲間へ^{つな}ぎ知の窓口

図書館での学習を通じて生活における諸課題に気づき、同じ認識を持つ仲間への出会い、ふれ合いへと広がっていく様を表現。「^{つな}ぎ」で地域への愛着を表している。

案６） 知の^{おのひと}織人の学び、集い、憩いの広場

個人の知識・情報・経験を相互に結び、共有することで、人々がふれ合い、ともに学習し、成長していけるような場を表している。

※ 基本コンセプトは委員の皆さまのご意見により第４回（12/7）に決定する予定ですので、上記の案に限らず案を出して頂きたいと考えております。